

Nutrition Support Times

2009年NST猛烈突進宣言！



「皆様、あけましておめでとうございます(もう、1月も終わりですが)。本年も、よろしくお願ひいたします。今年も引き続き、さらにNSTをがんばりましょう」。

早いもので、NSTが立ち上がってから4度目の正月です。平成17年6月に勉強会(NCM講演会)やNSTワーキングが始まり、11月に2病棟(8南と9西)からNSTを開始し、翌2月から全科型として活動し、1昨年、和田先生から東別府先生(チェアマン)に変わり、さらなる飛躍を目指し、スタッフ一同はがんばって活動しています。

そこで、個人的には、簡易懸濁法を進めていかなければいけないと思っています。

簡易懸濁法って何？と思われる方のために説明すると、錠剤を経管投与するときに、従来は粉末化していますが、錠剤をそのまま温湯(約55度の湯 or 水道の一番熱いお湯)に入れて数分で懸濁(溶解)させ、溶解したことを確認し、その液を患者さんのチューブから投与するという方法です。メリットとして、溶解した後シリンジで吸うので詰まらない、粉末化した薬品の吸入の防止、投与するまで錠剤のままなので光・温度・湿気などの影響を受けにくい又錠剤の確認ができる、一般的に散剤や水剤より錠剤のほうが安価であるなどいろいろあります。錠剤を溶解したときの情報が少ないことがありますが、データを集積して、情報提供していきたいと思ひます。患者さんにも医療従事者にとってもよい方法だと思ひます。

末梢輸液(PPN)・高カロリー輸液(IVHでなくTPN)についてですが、



NSTが開始した時期とほぼ同時期に、脂肪乳剤・イントラリッピッド、アミノ酸・糖加電解質液ビーフリード(当時アミノフリード)、総合アミノ酸液プロテアミン12Xの払出し量が増加しました。現在は、ビーフリードはご存知の通りで、TPNの払出し量も最近減少傾向にあります。TPNが必要な症例は、当然使用しなければいけないのですが、消化管が使えて経腸栄養剤投与が可能な患者さんには、経腸栄養に移行すべきだと思ひます。

NST専門療法士についてですが、当院もNST専門療法士教育認定施設になるので、NST専門療法士を目指して、スタッフ勉強会などを利用して、一緒に勉強しましょう。合格することが目標ですが、それまでの勉強で身につく知識が一番大事だと思ひます。試験問題は、臨床的な問題の他に、糖・アミノ酸(蛋白質)・脂質などの代謝や生化学的な問題、輸液・経腸栄養剤など製剤の問題などさまざまです。(詳細は、NSTimes No.1 参照)。

まずは、NCM勉強会・スタッフ勉強会に参加しましょう。(NSTimes 参照かスタッフへ)。

来月2月26日のNCM講演会は、著名な山中英治先生の講演なので必ず参加しましょう。

また、“WEBMINK”の“NST”or 当院のホームページの“チーム医療”の“NST”にあるNSTimesのバックナンバーをすべて読んでみましょう。NSTのことが、よく分かりますと思ひます。

患者様のため、病院のため、自分のためにNSTに参加して勉強していきましょう。 葉・T

絶食が長くなっている患者さんはいませんか？

体重が減っている患者さんはいませんか？

ずっと下痢、褥瘡が悪化している患者さんはいませんか？

ムセながら食べているという患者さんはいませんか？

その他でも栄養、摂食が気になる患者さんはいませんか？

NCM 講演会予定



月日	内容	担当
2/26	感染と栄養について	若草第1病院 山中先生
3/26	腎臓と栄養について	田路先生

NSTカンファレンス・回診

毎週水曜日 pm1:00 ~ 8北(861)NST カンファレンスルーム

2009年はもっともっとNSTが皆さんの身近に感じられるような勉強会を開催していきたいと思ひます。ふるってご参加ください！